

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針	
教育方針	地域の期待に応えるため、高校生として、徳・知・体の調和のある人間づくりを目指すとともに、生徒一人一人をみつめ、その資質・個性に応じた教育を行う。	重点目標		「共に創ろう誇れる上浮六高」～励ましの言葉が響き合う学びを指して～ 1 創造力・想像力、人権意識の育成 2 確かな学力の育成と進路指導の充実 3 基本的な生活習慣と実践力の育成 4 地域に開かれた信頼される学校づくり		
		地域への期待に応えるため、高校生として、徳・知・体の調和のある人間づくりを目指すとともに、生徒一人一人をみつめ、その資質・個性に応じた教育を行う。				
学習指導	個に応じた指導の徹底	教師	授業や話し方など、授業の指導方法に加え、ICTを活用することで、学習の理解を深めたり、学習の意欲を高める。ICTを活用した授業の実施	B	「よくできている」33%、「だいたいできている」67%、「あまりできていない」0%という状況である。	「leams」の機能を活用して授業が浸透し、多くの教員が活用できるようになった。今後、他校での実践事例等も取り入れ、さらに進化させていきたい。
		生徒	ICTを活用した学習方法の定着を図る。	B	「よくできている」56%、「だいたいできている」39%、「あまりできていない」5%という状況である。	
		数値目標	一人1台端末の週5日以上利用。			
		教師	個人1台端末の活用を積極的に取り入れ、学習指導要領で求められている目標達成のために活用し、個人1台端末に必要かつ十分な学習の機会を確保し、学習意欲を高める。適切な指導を行う。	B	「よくできている」38%、「だいたいできている」52%、「あまりできていない」10%という状況である。	「学習」の機能を活用して授業が浸透し、多くの教員が活用できるようになった。今後、他校での実践事例等も取り入れ、さらに進化させていきたい。
	生徒	グループ学習や個別の指導・支援の時間を多く取り入れ、授業で学習した内容を定着を図る。	B	「よくできている」48%、「だいたいできている」42%、「あまりできていない」10%という状況である。	「基礎的・基礎的」な事項をしっかりと、教科によって、習熟度別の授業等を行うように、理解を高める。	
	数値目標	基礎練習実習時間ゼロ。				
	教師	個人1台端末の活用を積極的に取り入れ、学習指導要領で求められている目標達成のために活用し、個人1台端末に必要かつ十分な学習の機会を確保し、学習意欲を高める。適切な指導を行う。	B	「よくできている」15%、「だいたいできている」35%、「あまりできていない」50%という状況である。	「基礎的・基礎的」な事項をしっかりと、教科によって、習熟度別の授業等を行うように、理解を高める。	
	生徒	ICTを活用した授業学習に取り組む。	C	「よくできている」17%、「だいたいできている」50%、「あまりできていない」33%という状況である。		
	保護者	家庭での学習環境の整備をお願いする。	C	「よくできている」21%、「だいたいできている」39%、「あまりできていない」40%という状況である。		
	数値目標	平均家庭学習時間 平常時90分以上、考査中240分以上。	C	平均家庭学習時間 平常時57分、考査中143分という結果であった。		

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:成果がなかった)とする。

生徒指導	基本的なマナーの育成	教師	挨拶や礼儀作法、服装・身だしなみ、学習態度など、生徒の基本的なマナーを身に付けさせる。	B	「よくできている」23%、「だいたいできている」77%という状況である。	
		生徒	適切な言葉遣い、マナーを守って生活する。	B	「よくできている」29%、「あまりできていない」71%という状況である。	
		保護者	子どもも適切な言葉遣い、マナーを守って生活させる。	B	「よくできている」39%、「あまりできていない」61%という状況である。	
		数値目標	基本のマナーが守られる生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」68%、「だいたいできている」32%という状況である。	
	高校生らしい身だしなみの定着	教師	教職員が先導的に身だしなみ指導を行う。	C	「よくできている」18%、「だいたいできている」82%という状況である。	
		生徒	高校生らしい身だしなみをする。	B	「よくできている」31%、「だいたいできている」69%という状況である。	
		保護者	子どもも高校生らしい身だしなみをする。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		数値目標	身だしなみ指導の生徒割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	A	全体の指導割合は97%、学年が異なるため指導割合の異なる結果であった。	
	規範意識の育成	教師	社会規範や公衆道徳を守る意識を育てる。	B	「よくできている」29%、「だいたいできている」71%という状況である。	
		生徒	校則をはじめ社会のルールを守って生活する。	A	「よくできている」72%、「だいたいできている」28%という状況である。	
保護者		子どもも適正な規範意識を持って行動できるようにする。	B	「よくできている」40%、「だいたいできている」60%という状況である。		
数値目標		校則や規律でできる生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」69%、「だいたいできている」31%という状況である。		
人権教育・特別活動	互いの思いやりと自尊意識の高揚	教師	人権教育の重要性を認識し、人権教育の推進に努める。互いの思いやりと自尊意識を高める。	B	「よくできている」38%、「だいたいできている」62%という状況である。	
		生徒	互いの思いやりと自尊意識を高める。	B	「よくできている」38%、「だいたいできている」62%という状況である。	
		保護者	子どもも互いの思いやりと自尊意識を高める。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		数値目標	人権教育に関する生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	A	「よくできている」92%、「だいたいできている」8%という状況である。	
	学校行事への積極的な参加	教師	学校行事に主体的に参加し、学校行事の充実を図る。	B	「よくできている」56%、「だいたいできている」44%という状況である。	
		生徒	体育大会や文化祭など学校行事に主体的に参加する。	B	「よくできている」60%、「だいたいできている」40%という状況である。	
		保護者	学校行事に主体的に参加し、子どもも主体的に参加できるようにする。	B	「よくできている」49%、「だいたいできている」51%という状況である。	
		数値目標	学校行事に主体的に参加している生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」60%、「だいたいできている」40%という状況である。	

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:成果がなかった)とする。

進路指導	進路先の具体化	教師	進路先の具体化を図る。進路先の具体化を図る。	A	「よくできている」57%、「だいたいできている」43%という状況である。	就職希望者は生徒一人あたり2社以上の就職先見つけに成功した。進学希望者も3社が職場見学及び説明会に参加するなど、職業情報を深めながら進路・進学指導に取り組むことができた。進学や就職に必要なスキルを身に付け、就職活動に備えることに応じて伸ばせる具体的な方策が必要である。
		生徒	進路先の具体化を図る。進路先の具体化を図る。	B	「よくできている」31%、「だいたいできている」69%という状況である。	
		保護者	進路について子どもも話し合い、進路先を定めていく。	B	「よくできている」49%、「だいたいできている」51%という状況である。	
		数値目標	進路先を特定した生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	希望進路内定率100%、希望進学率100%であった。	
	面接指導の充実	教師	面接指導の充実を図る。面接指導の充実を図る。	B	「よくできている」56%、「だいたいできている」44%という状況である。	就職及び進学に際しての面接指導は実施。個別指導とともに例年通り実施できた。生徒が将来の展望をより早い段階で持つことができるよう個別対応した面接指導を工夫した。
		生徒	面接指導の充実を図る。面接指導の充実を図る。	B	「よくできている」56%、「だいたいできている」44%という状況である。	
		保護者	面接指導の充実を図る。面接指導の充実を図る。	B	「よくできている」56%、「だいたいできている」44%という状況である。	
		数値目標	面接指導を受けた生徒の割合(目標値) 100%以上(A10%以上BB15%以上C5%以上D4%以下)	A	一人あたり10回以上の面接があった。	
	キャリア教育の充実	教師	キャリア教育の充実を図る。キャリア教育の充実を図る。	B	「よくできている」42%、「だいたいできている」58%という状況である。	就職や進学に必要な学力の定着を目指した課外学習全体で機動的に実施できた。豊富な人的及び物的資源がある学校と連携するキャリア教育を実施し、生徒の職業観をより具体的に養う必要がある。
		生徒	キャリア教育の充実を図る。キャリア教育の充実を図る。	B	「よくできている」49%、「だいたいできている」51%という状況である。	
保護者		キャリア教育の充実を図る。キャリア教育の充実を図る。	B	「よくできている」49%、「だいたいできている」51%という状況である。		
数値目標		キャリア教育に関する生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」82%、「だいたいできている」18%という状況である。		
開かれた学校づくり	教師	地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。	B	「よくできている」32%、「だいたいできている」68%という状況である。	「コロナ禍」はあったが、森田通利では積極的な地域交流を行うことができた。平日通利の地域交流は、今年も課題となる。総合的な探究の時間(もとまら)に、総合的な探究の時間(もとまら)等の活動を通して進めようとする。	
	生徒	地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。	B	「よくできている」32%、「だいたいできている」68%という状況である。		
	保護者	地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。	B	「よくできている」32%、「だいたいできている」68%という状況である。		
	数値目標	地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。地域と連携し、開かれた学校づくりを目指す。	B	「よくできている」32%、「だいたいできている」68%という状況である。		

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:成果がなかった)とする。

働き方	学校行事や授業の公開	教師	学校行事や授業の公開を行う。学校行事や授業の公開を行う。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	「コロナ禍」はあったが、参加し形態で学校行事や授業の公開を行うことができた。学校行事や授業の公開を行うことができた。学校行事や授業の公開を行うことができた。
		生徒	学校行事や授業の公開を行う。学校行事や授業の公開を行う。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		保護者	学校行事や授業の公開を行う。学校行事や授業の公開を行う。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		数値目標	学校行事・授業公開への保護者の参加率50%	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
	業務改善	教師	業務改善に取り組む。業務改善に取り組む。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	少人数の職員で、業務量が多いため、コロナ禍の影響を受けている。一人一人の業務量を増やして、業務の効率化を図る。業務の効率化を図る。
		生徒	業務改善に取り組む。業務改善に取り組む。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		保護者	業務改善に取り組む。業務改善に取り組む。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
		数値目標	業務改善に関する生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
	勤務時間の順守	教師	勤務時間の順守を図る。勤務時間の順守を図る。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	勤務時間の順守を図る。勤務時間の順守を図る。
		生徒	勤務時間の順守を図る。勤務時間の順守を図る。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。	
保護者		勤務時間の順守を図る。勤務時間の順守を図る。	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。		
数値目標		勤務時間の順守に関する生徒の割合(目標値) 100% (A7%以上BB6%~54%CS3~21D20%以下)	B	「よくできている」44%、「だいたいできている」56%という状況である。		

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:成果がなかった)とする。